



# 赤間っ子だより



3月号

令和5年2月28日  
宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

## コミュニティ・スクール 初年度をふいかえると。

宗像市の教育施策として、令和4年度から「小中一貫コミュニティ・スクール」が市内全学園でスタートしました。

城山学園においても、学校運営協議会を設立し、学校の経営方針及びこれからの事業について協議し、コミュニティ・スクール推進の基盤をつくりました。学校運営協議会では、毎回「熟議」の時間があり、地域や保護者の方々が熱心に考えを交流してくださっています。

さて、新型コロナウイルス感染症が出現して早くも3年が経過しましたが、ここに来て「WITHコロナ」「AFTERコロナ」の動きが強まっています。学校教育も、かなり制限が緩和されてきました。

令和2年度と3年度は、学校と地域との交流が全くと言っていい程できませんでした。今年度は、「むなかた子ども大学」で、地域の方々に学校に来ていただいたり、子ども達が地域に出向いたりできました。双方向の交流ができ、学校と地域との距離がグッと縮まったように思いました。



【子ども大学での1年生の交流場面】

また、2月18日、19日には3年ぶりとなる「赤間宿まつり」が開催され、赤間小学校の5、6年生がステージ発表をしました。赤間宿街道に子ども達の主張や歌声が響いたことを嬉しく思いました。



【宿まつりで発表する5、6年生】

スタートをきったばかりの小中一貫教育コミュニティ・スクールですが、1年目としてはまずまずの滑り出しだったかと思います。次年度は、さらに地域との連携を深めていけるものと期待を高めています。

## 巣立ちゆく6年生！

月 日に、令和4年度卒業式を挙行します。6年生164名が赤間小学校を巣立っていきます。今年の6年生は、赤間小学校の伝統である「あいさつ」や「そうじ」の上手さは引き継ぎつつ、歌声で思いを伝え人を感動させるという学年の強みを発揮しました。卒業前には、各学年に6年生が歌を届ける催しを計画していますし、卒業式でも、歌声で思いを表現します。



【修学旅行での様子】

4月からは中学生となりますが、赤間小学校の先生達や後輩達は、いつまでも6年生のことを応援しています。

## ・・・3月の主な行事・・・

詳細は紙面にて  
お知らせしています。